

## 私立入試の後は公立前期!



すでに私立高校入試の合格発表が始まっています。推薦や専願で合格した人は「ヤッター!」、併願合格の人も「ホッと一息!」だと思いますが、公立前期選抜を受験する人はまだまだ浮かれている場合ではありません。さらに、公立中期選抜も視野に入れている人はなおさらモチベーションを高めておかねばなりません。また、中期選抜は、22日の志願状況を見て、志望先を変更もできるので、いくつかのパターンも考えておけば、慌てないですみます。(23日が清書提出です)

### 私立高校入試結果発表について

- ①合格したのは、どのコースか確認を!  
第2希望コース合格もあり、また得点によっては、「特待生合格」などもあります。
- ②手続き期限の確認をしよう!  
推薦・専願の人は期限が間近です。  
併願の人は、公立中期発表の後ですが確認をしておきましょう。
- ③残念だった場合は、大至急に相談を!  
特に私立1.5次希望は、すぐに出願をしなければ、間に合いません。

このように、入試はまだまだ続いていきます。

多くの仲間がプレッシャーを感じながら、勉強に集中していかなければなりません。私立で進路が決まった人たちが、その雰囲気をこわしたり、ましてや邪魔したりする行為があっては困ります。彼らをサポートするには、自分に何ができるのか?を考えて行動しましょう。それが、本当のクラス・学年の仲間への友情・マナーだと思います。また「合格したら遊びまくるぞ!」などと考えているあなた、高校は義務教育ではありません。テスト結果が悪ければ、単位が取れなくて進級もできません。今の学力をキープしておかねば高校生活は暗～いものになってしまいますよ。

### 『母の高校入試』

夜、母と話をしていました。母は、静かな声で話しました。  
何の話かという、入試のことなのです。母は、高校入試に失敗したそうです。  
合格発表があった日、一歩も家から出られなくて、泣いていたそうです。  
だから、世間話などで、あの子は入ったとか、この子は落ちたとか、そんなことは一切しません。今になってみると、あのときのことが、ひどく役に立ったと言っていました。心の優しさの大切さ、いろいろな人の気持ちや立場、それがわかることの大切さをその体験から学んだそうです。不合格を冷たい目で見ない母を僕は尊敬します。

今夜、母が一層好きになりました。  
母を前より尊敬する気になりました。



